

町長所信

(要旨)

就任して四か月余りが経過しました。今、何をしているかをお知らせします。津波避難所の設置ですが、歴史を参考にすれば、つぎの南海地震は三連動の可能性が非常に高く、震度六強以上、津波の高さは10mを

超えると想定されます。従って、安全な避難所の高さですが、史実や先の東日本大震災の最大津波が約30mということですので、四十m程度にしたいと考えています。そして、この避難所、避難路を設置する場合に最も重要なことは、我々の世代が一時的な安心を得るために設置するのではなく、子孫の代に発災しても多くの死者は絶対に出さないという決意が必要だと



出羽島からの風景

考えています。避難路や避難所は日常的に使用し管理していくことが必要です。

現在、全国的にウォーキングやマラソンが盛んであり、避難路は散歩やジョギングなど健康管理やからだの活性化のため、また、趣味のために利用していただくのが一番良いと考えています。また、いっどこで地震に遭うかも分かりませんので、自分の地区だけでなく、町内の行動範囲にある避難所を歩いてほしいと思います。そして、将来的には牟岐町を防災と保養の町としてアピールし、モデル地域として、交流人口の増加を図ることを目標としています。

現在、町内の里山を一通り見て歩きまして、町民の方がいざという時にどこからでも避難できるように避難所、避難路を計画するとともに、現在の避難所から更に上に避難ができるようにしたいと考えています。八幡山のように避難所、避難路がほぼできているところもあれば、現在の避難所

から上は全く道がないというところもあります。できるだけ早く避難訓練ができる避難所、避難路を設置したいと考えています。

つぎに町の活性化、仕事の創造についてですが、今の取り組み始めているのが、町内に多くある空き家、空き地の利用です。現状を調査し、所有者に交渉し、賃貸、売買のお手伝いをする。ことにより、都会のIT企業などの田舎オフィスとして利用いただくとか、民宿、店舗などとして利用できたらと考えています。土地についても山林や耕作放棄地の賃貸、売買のお手伝いをし、山林牧場や貸し農園、オートキャンプ場など、あらゆる可能性に挑戦される方のお手伝いをしたいと考えています。

それともう一つ海部郡では平成十八年から南阿波よくばり体験が活動しており、皆さんのご努力により年々売上げを伸ばしています。せっかく町外から、県外から来ていただいてもお金を使っていたたく場所が非常

に少ない。土産物を購入する場合は、日和佐の道の駅へ案内しているようですので、牟岐町に來られた方は、ぜひ牟岐の土産物を買っていただきたい。そういうことで観光物産所を設置したいと考えています。国道沿いの既設建物を借りて改修し、土産物や農林水産品の販売、観光案内、工芸品の展示販売などを考えています。ここを拠点にして町の活性化、仕事の創造に結び付けたいと考えています。

最後に町民の皆さんとの協働については、これまでに町内五か所で懇話会を開催しました。話の内容は、ほとんど防災と避難所の設置に関することですが、鳥獣害対策やデマンドバス、小学校の跡地利用なども議題に上がりました。統合による小学校、保育所の跡地利用やスクールバスの運営など、町民の皆さんの生活に大きく関わることから、協働協議会、検討会を設けて今後計画を取りまとめたいて考えています。